

区民の健康と暮らし守るための質問

第3回定例区議会の本会議、決算委員会

風見利男 (日本共産党 港区議会議員)

区政とあなたを結び

147



Email ● kazami@jcp-minatokugidan.gr.jp
HP ● http://www.jcp-minatokugidan.gr.jp/

政治革新の道しるべ
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊 ● 月2,900円
日曜版 ● 月 800円



全国ですでに一七市町で医療費無料化を実施、千代田区が実施の方向です。

妊産婦健診時にHTLV-1検査も

第三回定例区議会は九月十六日から十月八日まで開かれました。日本共産党区議団・六名は、風見区議を先頭に区民要求実現のため、建設的な提案を行いました。提案・質問の一部を紹介します。

ヒブ・子宮頸がんワクチン接種費用無料に

九月十六日に開かれた第三回定例区議会本会議での代表質問で、「ヒブワクチン接種費用を無料に」、「子宮頸がんワクチン接種費用の全額助成を」と質問しました。

区長は、「(ヒブワクチン、



子宮頸がんワクチン)接種費用助成を実施する方向で検討する」と答えました。この間、毎議会の代表・一般質問で取り上げてきたことが実を結びました。小児用肺炎球菌ワクチン接種の助成も求めました。

七五歳以上の医療費を無料に

日本は、必要な医療を保障される「国民皆保険」の国といわれています。医療保険は、万一の病気のために保険料を払うわけですから、高い保険料を払った上、窓口負担があるのでは、保険とはいえません。

一九八〇年代前半までは、健康保険本人や七〇才以上の高齢者の窓口負担はありませんでした。その当たり前の原則を自民党政権が突き崩し一割から二割、そして三割負担と改悪を繰り返

し、日本の医療制度を大きく後退させてしまったのです。当面の対策として、七五歳以上の「医療費無料を国に求める」こと。国が実施するまで、「港区として医療費の助成制度の実施を」と質問しました。

区長は「医療費の助成制度の実施は考えていない」と冷たい答弁でした。

高校生まで医療費無料に

子ども達が安心して治療に専念できるように、「医療費の無料化を高校生の年代まで拡大する」と質問しました。

区長は、「現在のところ考えていない」と答えました。

貧困と格差の拡大で区民生活は大変。三人に一人が非正規雇用、女性と若者では二人に一人が非正規雇用。景気の後退・円高による影響をもちに受ける中小企業・商店は深刻な事態です。貧富の差によって医療に差別が生じることがあってはなりません。

国民の世論と運動が国を動かす

ヒブ・子宮頸がん・小児用肺炎球菌ワクチン接種
HTLV-1検査

患者を中心とした運動と国民の世論におされ、国は、ヒブ・子宮頸がん・小児用肺炎球菌ワクチン接種、妊産婦のHTLV-1検査の費用助成実施の方向を決めました。党区議団は、区として「国の責任で実施」するよう「要請すべき」と提案してきました。

裏面に続く

成人歯科健診時に治療も

風見区議は、成人歯科健診の結果「治療が必要」となった場合、「本人の了解のうえ治療」

と答えました。

風見区議は、妊産婦健診の際、希望者に母乳でうつる白血病ウイルス・HTLV-1(ヒトT細胞好性ウイルス1型)の検査を加えるよう「国に求めるよう」。

すれば、区民にとっても良いことではないかと質問しました。保健所長は、「無料で歯科健診を受けられると思ったのに、お金をとられた」等の苦情が発生する可能性が高く、このような混乱を防ぐため、「健診と治療は別の日に実施するよう、歯科医師会と協議し合意している」、「区民にとってよりよい健診となるよう歯科医師会と協議する」と答えました。



なんでも相談会

☆毎月第3月曜日、午後6時30分より 青山福祉会館 2階講習室Aを予定
☆事前にご連絡いただくと幸いです。☆連絡先…風見宅Tel.3400-5015 控室Tel.3578-2945

